

## 平成25年第2回帯広市公営企業経営審議会 議事録要旨

日 時 : 平成25年9月18日(水)午前10時

場 所 : 帯広市役所10階第5A会議室

議題(1)平成24年度帯広市水道事業会計決算状況について

議題(2)平成24年度帯広市下水道事業会計決算状況について

委員

事務局

**供給単価が年々微増しているが、今後の見通しについて。**

水量減という傾向が今後どのくらい続くか分かりませんが、水量が下がりますと割高になっていく動きは続くと考えています。

供給単価と給水原価の差が1t当りの利益となりますが、安く作って安く皆さんにお配りする事が一番求められている経営理念であり、同時に安心して安全なものを作る事も課せられていると思いますので、これからも、少しでも出来ることであれば、皆様に少しでもお安く提供できるような企業努力をこれからも続けていかなければと考えています。

委員

事務局

**民間的経営管理手法の活用とあるが、具体的な取り組みについて。**

上下水道の各事業の中で、検針業務、処理場の管理業務といった部分的に、委託をし、民間の力を借りながら取り組んでいます。

今後、条件が整えば、どういう業務が外注になじみ可能なのか研究し、これからも情報収集と取り組みをしていかなければならないと考えています。

委員

事務局

**未収金の対応について。**

一般的な料金の滞納という部分での未収金の解消につきましては、お使いいただいた分は、お支払いいただくよう督促をしたり催告をしたり、さらに水道の場合は停水処分まで方法として取り入れ、皆さんにお支払いいただくよう取り組んでおります。

未納や滞納がたくさん発生するかどうかは、経済状況、景気に左右される事も非常に多いのですが、負担についてお願いをしていく努力が必要だと考えております。

委員  
事務局

**供給単価、供給原価は、他の地域と比較するとどうなのか。**

他の道内の10万市と比較しますと高い状況にあります。

その要因として、十勝中部広域水道企業団からの受水費単価がちょっと高いものですから、私どもの供給原価も高くなっている傾向があります。

ただ、安心という意味では、2水源あることで、仮に1つの水源に何かあっても、もう1つの水源でしっかりカバーできる体制になっています。

委員  
事務局

**ペットボトル水のPR事業の全体像について。**

帯広の水道水の安全性やおいしさを市民の皆様に再認識していただくことを目的に、PR用や販売用ということで使っています。

昨年度は、59,808本製造し、57,809本販売しております。前年度製造した分の繰り越しもありますので、24年度末の在庫としては、28,800本程度持っているような状況です。

現在の販売体制は、当初8箇所だったものが、現在46箇所、自動販売機で38台ということで、現在84箇所の販売網を持って販売しております。

委員  
事務局

**電気料金の引き上げに伴う上下水道事業への影響について。**

概算でお話しますと、水道、下水道事業の今年半年分の影響額でそれぞれ大体300万から400万ぐらい電気代として上がる試算をしております。